

Q 乳幼児医療費の拡充を

A 財政上実施状況にない



▲子どもは村の宝、丈夫に育ててほしい

Q1

①広域8市町の福祉分野および乳幼児医療費支援の独自実施状況は。

②子育て支援として、所得制限の緩和か撤廃すべきだがその考えは。

A1

①全体としては、子どもとお年寄りに対しては広くサービスを展開しています。乳幼児支援は、5市町が所得制限



武田 猛見 議員

を撤廃しています。

②乳幼児支援は、重要との認識をしていますが、現在の財政状況を見ると実施に踏み切る状況にありません。

財政見通しと事業の展開は

Q2

①中期財政見通しに対する考え方と住民視点での重点事業の考えは。

②村民に対する情報の開示と共有の考えは。

A2

①総合計画に基づき進めませんが、限られた財源の中で効率的に進めます。重点事業については、子どもとお年寄りへのサービス、および産業の育成に取り組みます。

②住民に対しましては、ホームページ・会議などで説明しますが、情報の共有は必要不可欠と考え、広報活動に力を入れてまいります。

20年度予算での重点施策は

Q3

①これまでの総合計画における実行計画の進捗状況と20年度からの計画は。

②20年度予算の編成と重点施策の考えは。

A3

①めざそう値では、44項目のうち21項目が達成していますが、達成困難の項目も生まれています。政策・施策では平均92%の達成率で、事業費で見ますと98・6%と順調な進捗状況です。20年度からの計画も生活者の視点に立って福祉行政の推進と、産業の育成と雇用拡大を推進します。

②20年度は、「子どもとお年寄りに優しい環境づくり」「地域産業の育成と雇用拡大」「農業を柱とする地産地消の推進」「住民参画・住民協働の推進」に努めます。

Q 防衛整備事業の内容は

A 周辺地域を中心に実施



遠藤 秀鬼 議員
(新志会)



▲大雨による農地災害、一本木大川地区

Q1

①防衛施設周辺地域、被災地域での助成事業が極めて少なく、その大部分が遠隔地での助成処置を受けているという矛盾が発生しているのではないかと思います。②過去の重点整備実施事業と今後の事業計画について伺います。

A1

①本事業は、周辺地域一帯として生活環境上、何らかの影響、支障があるということでの対策事業と認識しており、今後も駐屯地周辺地域である大川地区を含む一本木地区・柳沢地区において、障害の防止・軽

減あるいは民生安定が図られるべきであり、今後も当該地域を中心に防衛施設周辺対策事業を実施していく計画であります。

②防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条「障害防止事業」として、一本木小、一本木中、柳沢小・中学校の防音工事、村道改良工事等。法第8条「民生安定事業施設設置助成事業」として、消防施設、コミュニティセンター、ゴミ処理施設、村道改良舗装工事等を実施。法第9条「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」として、村道

の整備を中心として消防司令車、学校給食センターの調理機器整備など、地域住民にかかわる生活環境整備事業等、それぞれの補助事業毎の性格、特徴に基づき実施してまいります。

Q2

①今年度から実施された税源移譲により納税者の負担感が強くなっている。特に村民税の四回分割徴収から毎月徴収に改める等の処置を講じて負担感を軽減できないか。

②収納方法のあり方について特に村民の意見を聞いて納税者の立場に立った、納税環境・収納方法を検討するべきではないか。

A2

①収納現場において個々の納税相談に応じ、分納等の緩和処置を講じているが、納税期数自体の増加については、税源移譲後の収納状況の検証、近隣自治体の動向、徴税コスト面等を総合的に勘案しながら検討してまいります。

②コンビニ収納等の新たな納付機会拡充は必要不可欠なものとして受け止めており、納付環境の利便性向上に向けた取り組みを進めてまいります。